汐入小学校だより

平成29年4月14日（金）
横須賀市立汐入小学校
学校長　野村　一雄

学習状況調査

お忙しい中、先日の授業参観と学校説明会・懇談会にお出でいただきありがとうございます。今年度も学校教育目標である『人間性豊かな子ども』を目指して取り組んでまいります。

ところで、４月１８日（火）に全国学力・学習状況調査が実施され、６年生が算数と国語の調査に取り組みます。今年度から横須賀市の学習状況調査も加わり、４月１９日（水）には理科と社会の調査にも取り組みます。

また、４月２０日（木）と２１日（金）には、３年生・４年生・５年生が、それぞれ横須賀市の学習状況調査（３年生は国・算、４・５年生は国・算・理・社の４教科）に取り組みます。

学習状況調査というと、すぐに、平均点がどのくらいかということが話題となりますが、学校で実施しているテストには次の３つの目的があります。

①準備のテスト 授業を始める前に子どもたちの様子を確認して指導計画をつくるためのテスト。 例えば、割り算の勉強をする前に掛け算の力を確認したり、電磁石を勉強する前に磁石の知識・理解を確認したりすること。
②確認のテスト 指導の途中に行い、子どもたちの理解の様子を確認して、指導計画を変更したり、理解が足りない部分を補ったりするためのテスト。 例えば、漢字の読み書きがもう少しの場合に重点的に指導したり、算数の計算問題がしっかりできているので、応用問題の指導の時間を長めにとったりすること。
③まとめのテスト 学習指導のまとめとして実施して、子どもたちに最終的にどの程度の学力が身についたのかを評価するテスト。そして、教師自身がこれまでの自分の指導を見つめなおし、授業改善に生かしていくテスト。

昨年度もお話しましたが、私は、全国学力・学習状況調査をはじめ３・４・５・６年生が取り組むこれらのテストを、『調査』という名前の通り、小学校の学習指導の途中における『確認のテスト』ととらえています。

今までもそうでしたが、調査結果を基に、子どもたちの理解の様子を確認して、本校の指導計画を組み立てたり変更したり、理解が足りない部分を補ったりしていきます。そして、汐入小学校の子どもたちのさらなる学力向上につなげていきたいと考えています。これからもよろしくお願いします。